

(参考資料)

○自然再生推進法に基づく自然再生協議会の設立及び取組状況一覧(全国)

現在全国各地で25の自然再生協議会が設立され、それぞれの地域において全体構想及び実施計画の作成などが進められています。

平成28年3月時点

	協議会名	位置	主な取組内容	構成員数	全体構想作成日	実施計画作成日
1	荒川 ^{アライ川} 太郎右衛門地区自然再生協議会	埼玉県	乾燥化が進む旧流路において湿地環境の保全・再生及び壮齢化した河畔林を保全・再生。	38	H16.3.31 H18.5.28変更	H23.1.28
2	釧路湿原自然再生協議会	北海道	流域からの土砂流入等により乾燥化が進む釧路湿原を再生。	112	H17.3.31 H27.3	H18.1.31/雪裡・幌呂 H18.2.28/達古武 H18.1.31/雨標茶 H18.8.1/茅沼地区 H18.8.1/久春呂川 H19.9.6/雷別 H24.5.30/幌呂 H25.2.19/達古武湖
3	巴川 ^{アヒラ} 流域麻機遊水地自然再生協議会	静岡県	洪水防止対策として造成された麻機遊水地において元の麻機沼における植物の回復等自然環境を保全・再生。	108	H19.3.1	H20.12.8
4	多摩川源流自然再生協議会	山梨県	山梨県小菅村全域において森林や河川景観等を再生。	36	H20.3.21	—
5	神於 ^{カノコ} 山保全活用推進協議会	大阪府	竹林の侵入が進む神於山においてクスギ・コナラを中心とする落葉樹林帯やカシ・シイを中心とする常緑樹林帯を再生。	45	H16.10.21	H17.6.1
6	程原 ^{カハラ} 湿原地区自然再生協議会	佐賀県	特定植物の繁茂や植物遺体の堆積といった自然遷移の進行により悪化している湿地環境を良好な状態へと再生。	36	H17.1.26	H17.3.31
7	榎野川 ^{カノコ} 河口域・干潟自然再生協議会	山口県	榎野川河口域・干潟の自然環境を再生・維持。	62	H17.3.31	—
8	霞ヶ浦 ^{カミヤ} 田村・沖宿・戸崎地区自然再生協議会	茨城県	霞ヶ浦湾奥部の湖岸環境を再生。	38	H17.11.27	H18.11.27/A区間 H19.9.14/B区間 H27.7.10/C～I区間
9	くぬぎ山 ^{カヌギ} 地区自然再生協議会	埼玉県	川越市、所沢市、狭山市、三芳町にまたがる武蔵野の平地林「くぬぎ山地区」における歴史的・文化的・環境的価値を継承。	56	H17.3.12	—
10	八幡 ^{カヌギ} 湿原自然再生協議会	広島県	臥竜山麓八幡湿原地域において湿原環境を再生。	31	H18.3.31	H18.10.30
11	上サロベツ ^{カヌギ} 自然再生協議会	北海道	国立公園であるサロベツ湿原と農地が隣接する北海道豊富町において、農業と共存した湿原を再生。	49	H18.2.2	H18.7.13/国土交通省 H21.7.2/環境省 H24.5.28/農林水産省
12	野川 ^{カヌギ} 第一・第二調節池地区自然再生協議会	東京都	土地利用の変化により自然環境が大きく損なわれたかつての多様な河川環境を再生。	35	H18.9.13	H18.10.16/第一次 H24.11.28/第二次
13	蒲生 ^{カヌギ} 干潟自然再生協議会	宮城県	シギ・チドリ類などの渡り鳥の飛来地であり、また底生動物の宝庫である貴重な干潟環境を保全・再生。	22	H18.9.16	H20.3.29
14	森吉山麓 ^{カヌギ} 高原自然再生協議会	秋田県	かつて草地として開発された森吉山麓高原を広葉樹林に再生し、周辺の自然環境と共に保全。	15	H18.3.31	H18.10.20(第1期) H21.4.27(第1期変更) H23.3.23(第2期)
15	竹ヶ島 ^{カヌギ} 海域公園自然再生協議会	徳島県	サンゴを中心とした海洋生態系を回復。	52	H18.3.31	H23.7.29
16	阿蘇 ^{カヌギ} 草原再生協議会	熊本県	阿蘇の草原を維持、保全及び再生。	243	H19.3.7 H26.3.13	H21.3.4(野草地) H25.3.12(野草地(第2期)) H23.3.10(草原湿地)
17	石西 ^{カヌギ} 礁湖自然再生協議会	沖縄県	優れたサンゴ礁を保全することに加え、赤土流出への取り組みを進めるなど陸域からの環境負荷を少なくするとともに、サンゴ群集の修復などを通じてのサンゴ礁生態系を再生。	108	H19.9.1	H20.6.13
18	竜串 ^{カヌギ} 自然再生協議会	高知県	竜串湾のサンゴを再生するため、海底に堆積した泥土の除去や、森林や河川などからの土砂流出、周辺地域からの生活排水など、流域からの様々な環境負荷を抑制。	70	H20.3.28	H22.1.28
19	中海 ^{カヌギ} 自然再生協議会	島根県 鳥取県	戦後の開発や生活雑排水の流入などにより失われた中海全域の自然環境を再生。	67	H20.11.22	H24.3.10
20	伊豆沼 ^{カヌギ} ・内沼自然再生協議会	宮城県	周辺の農村環境や地域の人々の生活と共存しながら、豊かな水生植物群落を復元し、多様な水鳥、在来魚が生息していた湿地環境、湿原景観を再生。	36	H21.10.31	H22.11.3
21	久保川 ^{カヌギ} イーハトーブ自然再生協議会	岩手県	ため池等での外来種対策、適切な管理による雑木林や河畔域の生物多様性の保全再生を図り、恵み豊かな里地里山の自然を次世代に継承。	30	H21.5.16	H21.5.16(ため池) H22.5.16(広葉樹林)
22	上山 ^{カヌギ} 高原自然再生協議会	兵庫県	スギ等の人工林の広葉樹への転換と二次的自然であるススキ草原を再生。	10	H22.3.22 H27.3.15	H24.1.13 H27.3.15(改定)
23	多々良沼 ^{カヌギ} ・城沼自然再生協議会	群馬県	三方五湖の湖沼環境を保全・再生。	55	H23.5.13	H26.1.26
24	三方 ^{カヌギ} 五湖自然再生協議会	福井県	多々良沼・城沼の湖沼環境を保全・再生し、新たな人との関わりを創出。	62	H24.3.4	H25.3.3
25	高安 ^{カヌギ} 自然再生協議会	大阪府	高安地域の里地里山の水循環系を保全し、外来動植物対策や管理放棄が進む雑木林や水辺の適切な管理を通じて、絶滅危惧種であるニッポンバラタナゴを含む生物多様性を保全・再生。	25	—	—